

筑心

chikushin

筑心会

vol.23

2013 JULY

平成25年7月1日発行

温故

Chikushi High School Alumni Association

筑心

www.chikushin.net

発行 福岡県立筑紫高等学校
同窓会 筑心会

www.chikushin.net

在校生のために
私たちが出来ること。



今年の懇親会は**グランドハイアット福岡**で開催!!

第38回「筑心会」懇親会 / 2013年8月10日(土) 16:30受付

ご挨拶

「筑紫高等学校創立四十周年事業を終えて」



名誉会長(学校長)
友野 晃

福岡県立筑紫高等学校同窓会「筑心会」の広報誌「筑心」第二十三回の発行を心よりお祝い申し上げます。

私は昨年に引き続き筑紫高校の校長をさせていただいております。友野と申します。日頃から筑心会の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校は同窓会の皆様方の多大なるご支援により、昨年創立四十周年事業を行うことができました。本事業に当たりましては、実行委員長であります木原同窓会長を中心に父母教師会、教育振興会、学校を母体とする実行委員会、記念式典や、記念誌刊行、記念事業の企画・運営が行われました。

記念事業といたしましては、夜間照明設備やトレーニング機器の設備拡充、校名及び『筑紫魂』(西村寛久教諭揮毫、筑紫高校第

九期生)の文字表示工事、学校行事等の支援、さらには野球(対筑紫台高校)、サッカー(対新宮高校)、ラグビー(対関西学院高等部)の記念試合や体育大会、筑紫祭等の学校行事への支援など、生徒の教育活動支援をコンセプトに、年間を通して様々な事業をご支援いただきました。

これらをとおして、生徒達も筑紫高校に對するより一層の母校愛と誇りを胸に刻み、学習や部活動等への大きな励みとなりました。同窓会の先輩から後輩への様々な教えは、学校における伝統や文化となつて在校生に着実に受け継がれており、本年度の様々な教育活動成果については枚挙にいとまがないほどであります。これら生徒の前向きな取り組みに対し、地域からは厚い信頼が寄せられるとともに、県内外の学校関係者から熱い期待をいただいております。

最後になりましたが、今後とも、筑紫野の地に揺るぎない学びの府として輝いております。紫高校の生徒一人ひとりが、筑紫高校での学びを活かして大きく羽ばたき、日本をもっと元気にする原動力として活躍するとともに、「同窓会・筑心会」のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。ご挨拶といたします。



「これからの10年に向けて」
同窓会・筑心会会長
木原 寿

母校は昨年創立40周年を迎え、筑心会といたしましても「未来(あす)を掴め筑紫生」をテーマとして行われた記念講演への協力や、グラウンドのLED照明や記念誌発行への助成、また、例年開催しております「OB座談会」さらには寄付金を原資とした奨学金の給付など、筑心会活動の指針である「在校生のために私たちができること」を実行する事ができました。ご支援いただきました皆様に対し、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、節目の年を終えたばかりで少々気が早いかもかもしれませんが、ここから10年を考えると、筑心会の運営に影響する事として、「二万人に迫る同窓生数」や「増々顕著となる学校設備や備品等の老朽化」などが挙げられます。

筑心会の運営にかかる費用は、その殆どが現役からの同窓会費によつて賄われております。「同窓生数の増加」は通信費漸増となつて、また「設備・備品の老朽化」は修理・買換え費用の支援負担となつて収支余力を圧迫しますし、そもそも現役に過度に依存した収入構造自体が少子化リスクを抱えていると言わざるを得ません。

そこで皆様にお願ひしたいのは、「部活動支援の柱として各部OB・OG会の活性化による現役支援」ならびに「寄付金への協力」であります。

さらに筑心会事務局としては、これからの10年に向けて新規の財源を構築すべく鋭意取り組んでまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

恩師往来

○退職

・隈本 喜毅(事務局長)

○転入

・大塚 信教(頭)

・矢動丸 典弘(事務局長)

・鈴木 貴子(国語)

・須惠高 尚(須惠高)

・一井 陽子(国語)

・田中 輝(数学)

・井上 英一郎(理科)

・石川 和彦(理科)

・河村 綾香(国語)

・林本 理紗(社会)

・笠原 龍一(保健体育)

・大平 浩也(事務次長)

・岡田 千里(事務)

・佐伯 典彦(事務次長)

・川崎特別支援学校

・因 由美(事務)

・樋口 千鶴(保健体育)

・中村 礼史(英語)

・内田 敏章(理科)

・三好 康裕(社会)

・藤原 満幸(数学)

・神保 高子(国語)

・安井 エミ(国語)

・大久保 芳隆(教頭)

・大塚 信教(頭)

・矢動丸 典弘(事務局長)

・鈴木 貴子(国語)

・須惠高 尚(須惠高)

・一井 陽子(国語)

・田中 輝(数学)

・井上 英一郎(理科)

・石川 和彦(理科)

・河村 綾香(国語)

<p>〔講師〕</p> <p>・山本 隆治(社会)</p> <p>・友岡 美津子(国語)</p> <p>・山本 そよ(数学)</p> <p>・長木 裕(保健体育)</p>	<p>〔講師〕</p> <p>・相原 蘭子(英語)</p> <p>・真保 俊(英語)</p> <p>・寺崎 文子(国語)</p> <p>・日高 友香(保健体育)</p>
---	--

第37回筑心会懇親会報告

同窓会会員の皆様、昨年は第37回筑心会懇親会へ多数ご出席頂き大変ありがとうございました。当日は、ご来賓の方々にも多数出席頂き、当番幹事一同心からお礼申し上げます。

さて、懇親会についてですが、テーマを何にするかを皆で十分に議論しました。同窓生同士が深い絆で繋がり、筑紫高校の下支えをしていく事、この懇親会に毎年気軽に参加出来る様な会にする事を企画し、「筑紫高校同窓会の縦の繋がり、横の繋がり」というテーマにしました。

まず、筑紫高校生が経営する飲食店等の会社を紹介するフリーペーパー「筑紫ペーパー」を創刊し、皆さんに案内、配布を行いました。各お店とも筑紫高校卒業生限定の割引等のサービスをして頂き、壇上でアピールもして頂きました。また、筑紫高校に関連するテーマの問題を四択方式で競う「筑心クイズ」を行いました。回答チームは各世代バラバラになる様に組分けし、より多くの同窓生と触れ合えるようなチーム編成にしました。正解チームには筑紫高校卒業生からの協賛品を



賞品として進呈する企画であった為、大変盛り上がっていました。ノベルティグッズとして、筑紫高校創立四十周年のロゴ入り手拭いや、紅白饅頭を販売し、多くの方々にご協力して頂きました。

各企画とも非常に盛況でした。後日筑紫ペーパーのチケットを持って、卒業生の店に行き、筑紫高校生同士の繋がりを深めたという話も伺いました。クイズ大会では普段話が出来ない違う世代の方々との交流を深める事が出来たとの感想も頂きました。今後とも卒業生同士が深い絆で繋がる事を祈念します。

また、会の運営にあたっては、協力スタッフにも集まり頂き、皆様にも喜んでもらえるよう、準備をして頂きました。今一度御礼申し上げます。

今年度は17期がメインとなり、8月10日(土)に開催される第38回筑心会懇親会の準備をして頂いてます。是非、足をお運び頂き同窓生の繋がりを深めて頂きたいと思っております。

平成24年度当番幹事同



第10回関東支部総会案内

テーマ RE-BIRTH(再生)

筑心会副会長 関東支部長 中森秀樹(3期生)
第10回総会幹事長 林 剛(6期生)

今年度、筑心会関東支部は記念すべき10回目の総会を開催出来る運びとなり、喜ばしい限りです。これもひとえに、当支部を興し、盛り

りたてて頂いた恩師、諸先輩・会員の方々からの賜物であり、深く御礼申し上げます。800名を超える卒業生を抱える当支部は我々の心の拠りどころとして、今後より重要な存在となるはず です。

さて、前回関東支部総会からの2年間ほまさに、日本の再生、復興という言葉が射すおり、3・11の東北・北関東の被災地復興は勿論のこと、政権交代を契機とした円安・株高によつて経済も浮上、景気高揚が望まれる所です。関東においても東京スカイツリー、新東京駅の開業、第2東名開通、富士山の世界文化

遺産登録などと明るい話題が絶えないものです。

その中で今回は、東京の文化の中心地である銀座で開催する事となりました。銀座は洗練された大人の街というイメージがありますが、そこに位置する「交詢社」は、福澤諭吉が提唱し、結成された日本最初の実業家社交クラブです。会員には企業の経営者が名を連ね、普段はなかなか立ち入れない場所でもあります。昭和レトロな耽美な世界に浸り、2次会では夜の銀座も堪能しましょう。

東日本在住の皆さん、来る11月、母校で学んだあの時を思い出しながら、お世話になった先生方、同級生、クラブの仲間達と楽しく、杯を交わす機会を心より楽しみにしています。

第10回 関東支部総会 開催内容

日時 11月16日(土) 17:00~19:00
※受付 16:30~

会場 交詢社
東京都中央区銀座6-8-7 交詢ビル9F
TEL 03-5537-1311
http://www.kojunsha.or.jp

会費 1期~31期:7,000円
32期~:3,000円
※会員ご家族の同伴も大歓迎です。
(中学生以上の同伴者:3,000円)

男性は上着・ネクタイ着用が必須となりますのでよろしくお願い致します

来賓 現校長、同窓会会長ほか、皆さんにご縁のある先生方をお呼びする方向で目下調整中です。

出欠連絡の方法や開催場所のアクセスなどの詳細については、同封の「関東支部総会案内」をご覧ください。

総会準備会へ参加してみませんか?

会員へのお声かけだけでも立派なスタッフです。月1回の準備会では、卒業期にこだわらずミニ同窓会みたいにワイワイやっています。

第38回 筑心会懇親会案内

筑紫高校卒業生の皆さん、こんにちは。平成25年度筑心会懇親会の幹事長を務めさせていただきます。17期の限部拓也です。

筑紫高校の全ての卒業生は、卒業と同時に(自動的に)筑心会の会員となっています。

ご存知でしたか? 「し、知らなかった〜!」という声が聞こえてきます。そして、**年に一度、一期生の大先輩から、卒業したてのフレッシュな顔ぶれまで、そして懐かしい先生方が一堂に会する「筑心会懇親会」が開催されていることをご存知でしたか?**

今年も**8月10日に、グランドハイアット福岡**において、**第38回筑心会懇親会が開催されます。**不惑の四十代に突入する我々**17期生**が代表幹事を務め、日本を代表する指導層の**7期、働き盛りの27期、平成生まれの新成人37期のメンバーと共に、**皆さんに楽しんでいただけるよう鋭意準備中です。

我々の母校、**筑紫高校は、昨年創立四十周年を迎えました。**我々17期が入学したのは平成元年、まだまだ「新設校」と認識されており、「ああ、あの派手なカバン持っている(指定サブバックのこと。目の覚めるような青色でした)ところ・・・」などと、かなり消極的な方法によって識別されることもありましたが、**40年**といえ、**もはや新設校ではありません。**「歴史」という言葉でさえ重過ぎることはないように思います。

時代は目まぐるしく移り変わり、我々の知っている風景は激変してしまっただけではありません。**日々忙しく、昔の仲間との連絡も途絶えがちな方、福岡を離れて高校時代の思い出そのものが遠い日々になっている方も**沢山おいでのことと思います。

8月10日の懇親会へいらっしゃいませんか。

年代を問わず、『自然あふれる筑紫野の懐で、多感でキョーレツな高校時代を送った』という事実は、たとえ初対面であっても打ち解けることができる、最大の共通項となるでしょう。それは「ポンビタル」「筑紫体操」「寒稽古」など、一つの単語だけで成立するオチ不要のものから、「師弟同行」「創・愛・健」という、若き日に接するに相応しかった校訓、校是まで、**忘れていた何かを思い出すかもしれません。**

ぜひお誘いあわせの上、お運びください。幹事一同、心よりお待ちしております。

託児サービスあります。

懇親会に参加したくても子どもを預けるところがなくに行けない・・・
そんなお母さんたちに安心して同窓会を楽しんでもらえるよう今年も託児サービスを行います

利用料無料!!

同封の出欠はがきよりお申込みください。

第38回 筑紫高校同窓会「筑心会」懇親会

【日時】 8月10日(土)
【受付】 16時30分～
【懇親会】 17時～
【場所】 グランドハイアット福岡
【会費】 当日徴収します。
1～17期 6,000円
18～27期 5,000円
28～34期 4,000円
35～37期 2,500円
38期 1,500円



当日はお釣りが出ないようご協力ください。

- ◎ 出席予定の先生方 ◎
- | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|--------|-------|
| 妹尾 克和 | 神保 高子 | 白濱 義朗 | 四村 聡子 | 古賀 朗子 | 日下部 成邦 | 城戸 英敏 | 笠原 龍一 | 小川 文一郎 | 大部 俊美 | 大塚 信 | 大塚 和広 | 江口 理香 | 内田 敏章 | 池間 昌典 |
| 八動丸 典弘 | 安井 エミ | 森本 由起子 | 松尾 キヨミ | 仁田 原秀明 | 西田 文男 | 福田 修 | 日高 友香 | 樋口 千鶴 | 細谷 明子 | 壇 泉 | 田中 友美 | 田中 輝一 | 田代 りえ子 | |
- (五十音順) 敬称略

お問合せは 筑心会へ
 ○電話：092-924-1511
 ○E-Mail：info@chikushin.net
 ○URL：http://www.chikushin.net



▲2012年 第37回筑心会懇親会の様子

第8回 OB座談会実施報告と感想

開催日:2012年10月13日(土)
場 所:筑紫高校

09:10~09:30 開会式
09:30~09:50 会場への移動
09:50~10:40 座談会(前半)
10:40~10:55 休憩・生徒移動
10:55~11:45 座談会(後半)
11:45~12:15 講師控室にて閉会式
13:00~16:00 反省会及び意見交換会



公務員	海上保安官(17期)、自衛官(13期)、警察官(36期)
教育系	小学校教員(16期)、教育関係会社経営(7期) 物理学研究員(30期)
政治	市議会議員(8期)、弁理士(10期)
法学系	司法書士事務所代表(31期)
経済・金融	政府系金融機関(12期)、銀行員(14期)
建築	住宅建築会社経営(7期)、設計職(13期) 住空間デザイナー(22期)
マスコミ・広告	広告メディア(7期)
運輸・物流	新幹線運転士(26期)
医療・保健	病院薬剤師(16期)、介護職管理者(19期)
福祉	看護師(27期)
サービス	旅行業(15期)、客室業務員(28期)

総勢21名の講師のみならず、年齢・職種は多岐にわたり、中には自身も在学中に座談会を受講した経験のある方もいらっしゃいました。時代とともに生徒たちの将来の選択肢も広がりを見せているようです。各分野で活躍されているOBたちが、普段直接聞くことの出来ない体験談・裏話などを熱心に語ってくれました。「後輩たちのために何か役

平成24年10月13日土曜日、秋晴れの中「筑紫高校OB座談会」が開催され、サポートスタッフとして参加いたしました。「If & Reality」と題して行われるOB座談会も今年で第8回を迎え、回を重ねるごとに盛り上がりを見せています。今回の講師の方々には半数以上が自ら筑心会ホームページよりエントリーいただいております。知名度も上がってきているように感じました。

最後に「先輩から何かを掴み取る」という生徒たちの素直な想いで、各教室は大変盛り上がりがありました。時間があつという間に過ぎてしまい、準備していた話を最後まで出来ない方、生徒に伝える難しさを感じている方など普段のビジネスの場とは違った雰囲気戸惑う場面もありましたが、最後は生徒から笑顔で見送られ充実感を感じているようでした。その後に行われた意見交換会では「来年も参加したい」「次回はこんな話をしてあげたい」という講師も多数おられ、第9回の盛り上がりを感じさせる時間でした。サポートスタッフとして自分たちの時とまったく変わらない筑紫高校の良さ、そして40年を経過して培われた伝統を改めて感じることに出来る一日となりました。ぜひ、これを読んだOBの方々、来年のOB座談会講師をしてみませんか？きっと「やってよかった」と思える経験と生徒たちから元気をもらえることが出来ると思います。講師枠が限られていますのでお早目のエントリーよろしくお願いたします。

最後になりましたが、開催にあたり様々な協力いただいた講師の皆様、学校関係者の皆様、同窓会座談会運営スタッフの皆様、本当にありがとうございました。当番幹事16期 横田学

「立ちたい」というOBの熱い気持ちと、「先輩から何かを掴み取る」という生徒たちの素直な想いで、各教室は大変盛り上がりがありました。時間があつという間に過ぎてしまい、準備していた話を最後まで出来ない方、生徒に伝える難しさを感じている方など普段のビジネスの場とは違った雰囲気戸惑う場面もありましたが、最後は生徒から笑顔で見送られ充実感を感じているようでした。その後に行われた意見交換会では「来年も参加したい」「次回はこんな話をしてあげたい」という講師も多数おられ、第9回の盛り上がりを感じさせる時間でした。サポートスタッフとして自分たちの時とまったく変わらない筑紫高校の良さ、そして40年を経過して培われた伝統を改めて感じることに出来る一日となりました。ぜひ、これを読んだOBの方々、来年のOB座談会講師をしてみませんか？きっと「やってよかった」と思える経験と生徒たちから元気をもらえることが出来ると思います。講師枠が限られていますのでお早目のエントリーよろしくお願いたします。



「OB 座談会」感想文

対象学年は現3年生(39期生)、いずれも一部抜粋



生徒たちが本当に素直で礼儀正しくビックリしました。色々な夢を持っている若者に具体的なことをしっかり話すことは出来ませんが、人生の先輩として自分が経験したことは話すことができました。今わからなくても、「その時」役に立っていただければ幸いです。筑紫高校を誇りに思うことが共有出来て感動し、また自分自身も成長出来たと思います。(講師:8期/迫 賢二)



準備段階では大変緊張しておりましたが、実際教壇に立つと、真剣な生徒たちの聴く姿勢や眼差しにより、「伝えたい」気持ちが強くなりました。一人一人の目を見ながら不安や疑問を少しでも取り除くことで、今後の進路を決める手助けになればいいなと思いました。そして…やはり筑紫生は素晴らしい!!久しぶりに母校にいられて嬉しかったです♪(講師:28期/青山 いずみ)



伝えるべきことを十分に伝えられたかは不安ですが、興味に満ちた生徒の表情を見たり、話を聞いたり出来たので、勝手ながら達成感を感じております。私たちにとっても生徒たちにとっても、このような機会に違う世代と接することができるのは貴重な経験だと思います。私自身にとっても大変勉強になりました。ありがとうございました。(講師:30期/佐々木 崇宏)



将来、看護師になりたい私にはとても興味があるお話でした。今からでも意識してやっていけるような事が多く、なるほどと思いました。それと先輩は今、色々なスポーツや趣味などを続けていると、いつか患者さんとの会話が出来たり、相談にのることが出来るので、今は色々やっていた方がいいと言われていたので何にでも積極的にチャレンジしていきたいと思います。(生徒C)



実際にデザインをされた住宅の写真や模型を見せていただき、建築系の仕事に対する憧れがより一層強くなりました。またお客さんの夢のマイホームを作り上げる時、要望をちゃんと実現させるためには、コミュニケーションがとても重要だと聞きました。私はこれから、友達や色々な人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思いました。(生徒B)



私は海上保安官という仕事を映画で知ってから、とても憧れていました。お話の中で一番心に残った言葉は、「自分の目指す男になれ!!」です。このような仕事をしている方は熱い信念を持っているんだな〜と、とても思いました。大切な人を守る為に頑張っているのだと分かりました。自分も海上保安官の教訓である「仁・愛・正義」を心に持って生きたいと思います。(生徒A)

筑紫高校創立40周年行事報告

昨年度一年間、学校創立40周年の諸行事が行われました。その内容と成果をご報告いたします。

記念式典

10月27日(土)に100名超のお客様をお迎えして行われました。厳粛な式典の後に行われた「卒業生によるトークセッション」では4名の先輩方にご登壇いただき、現役の後輩たちにエールを送っていただきました。

(司会) **西川 さとりさん(18期生)**
FM福岡アナウンサー
長谷川 真弓さん(3期生)
あかね助産院
白水 徹也さん(12期生)
京都大学准教授
青堀 力さん(19期生)
ホテル料理長



長谷川さんは助産師さんが赤ちゃんの心音を聞くときに使う「トラウベ」という木製の道具を見せてくださいました。また、**白水さん**はチームで考案された白水・前田・佐々木方程式を使って現在「膜宇宙論」に取り組んでおられると熱く語って下さいました。

青堀さんは南極観測隊に参加されたときに撮られたオーロラの写真やペンギンの写真、またチームで開発された宇宙食を持ってきていただいて、試食させてもらいました。様々な分野で活躍されている先輩たちが本当に誇らしく、生徒たちの顔が生き生きと輝いていました。



創立40周年記念招待試合

野球部

平成24年6月14日、春日球場にて筑紫台高校と対戦
在校生のみならず、多くの卒業生、保護者、先生方に見守られて試合が行われました。

サッカー部

平成24年9月15日、本校にて新宮高校と対戦

ラグビー部

平成24年9月15日、本校にて関西学院高等部と対戦

サッカー部、ラグビー部の記念試合は、体育大会のスタンドから全校生徒が見守る中、盛大に行われました。

以上、様々な行事を通して、我々が母校筑紫高校で学ぶ後輩たちの頑張る姿がたくさんの方々に披露されました。式典に参加された来賓の方々からは、生徒たちの凛とした姿勢が素晴らしいとお褒めの言葉をいただいたそうです。

次の50周年に向けて、我々卒業生一同、母校発展のために支援を続けていきましょう。

環境整備



校名と「筑紫魂」文字パネル設置



夜間照明設備設置



トレーニング機器補修



近年の筑紫高校の文武両道ぶりをご存知でしょうか。
今年度の部活動では、ラグビー部やサッカー部、陸上部、ソフトテニス部、剣道部などが県大会以上の大会に出場しています。
また今年度、難関の大学に対してより前向きに学習に取り組む契機になることを期待し、首都圏や関西圏の有名国立大学や私立大学へ行き、大学教員などの講義を聞く「筑紫アカデミックツアー」を実施します。
ほかにも、創立四十年を過ぎ、老朽化に伴う緊急を要する設備の修理などもあり、同窓会としては、母校を最大限に支援したいと考えておりますが、その財源の確保が難しい状況にあるのも事実でございます。
つきましては、母校の後輩たちがもつと快適に、そして有意義に学生生活を送れるよう、同窓生の皆さんにご支援していただければと存じます。
寄付用の振り込み用紙を同封しておりますので、なにとぞご協力のほど、お願い申し上げます。(下記銀行口座でもかまいません)

現役筑紫生の、母校の、さらなる飛躍のために。

当番幹事紹介

「問題文中の『ソ連』とは、旧ソビエト連邦を指します。」某大学の入学試験で、試験官が問題文の補足に回ってきたと、試験を終えた同級生がいきました。世界は動いている！試験問題作成時にはあつた国家が、今日はどうなっているか。

平成元年入学の我々十七期生は、そんな時代に卒業しました。そして卒業後二十二年、再び集まって、代表幹事として懇親会準備を進めることになりました。

まずは、正月明けの一月五日、決起大会という名の同窓会を開催し、同級生の絆を再確認。頻りに会っていた顔、進学などで福岡を離れて卒業以来の顔、など様々でしたが、やはり多感な時代を濃すぎる空間で過ごしたものの同士、心は一瞬で針摺時代へタイムスリップ。入学式、北海道へのスキー旅行、あの子と手をつないだフオークダンス、そして念



願のラグビー部花園出場。隣の人とは高校時代に話したこともなかったのに、あつという間にうちとけました。まるで高校時代が昨日のこのように感じられ、ボンビタールがビルジョッキに変わっただけです。

仕事、家庭など、多忙な立場の人が多く、集まるのはなかなか大変ですが、三月九日に二回目の、そして五月十日には三回目の打ち合わせを行い、当日皆さん楽しんでいただけるようアイデアを出し合っています。

まだ参加していません。十七期の皆さん！今後の打ち合わせには是非飛び入り参加いただき、八月十日に向けて共に盛り上がりつつ行きます。Facebookにアカウントがある方は「福岡県立筑紫高等学校十七期」でグループ検索、または隈部くんまでご連絡を。

好評をいただいている託児サービスを、今年もご準備しています。小さいお子さんをお持ちのママやパパは、ぜひともご利用ください。(同封の出欠ハガキをご覧ください)

八月十日、土曜日！万事お繰り合わせのうえ、そしてお誘いあわせのうえ、是非ともグランドハイアット福岡にお越しください。お待ちしております。



隈部幹事長 メールアドレス takuya-kumabe@ccwest.co.jp

第38回筑心会懇親会 当番幹事

- 幹事長 隈部 拓也 (17期)
- 幹事
 - 平田 真章 (17期)
 - 尾中 綾子 (17期)
 - 江夏 留美 (17期)
 - 江田 律子 (17期)
 - 村田 美子 (17期)
 - 池田 美子 (17期)
 - 金田 恵美 (17期)
 - 伊藤 聡美 (17期)
 - 森藤 美太郎 (17期)
 - 吉村 季孫 (17期)
 - 江原 謙介 (17期)
 - 木本 大介 (17期)
 - 関本 浩一 (17期)

※性は全て旧姓

第9回OB座談会 開催のお知らせ

OBが現役生へ贈るキャリア支援プログラム「OB座談会（F&REALITY）」もお陰さまで9年目を迎えます。年々盛り上がりを増す当会は、昨年までに約120名のOBに講師としてご参加いただき、学校やご父兄からも大変高い評価をいただいております。講師を終えたOB全員が口を揃えて最後に出す言葉は「楽しかった！またやりたい！」。やはりこの言葉に尽きるようです。「OB座談会実施委員会」は本年もOB講師20名を、筑心会のホームページで募集しています。

あなたも後輩のために一肌脱いで、悩める高校生たちと貴重かつ楽しいひと時を共有してみませんか。自薦他薦は問いませんので、皆さまの応募を心よりお待ちしております。*申し込み多数の場合は「OB座談会実施委員会」で検討の上選定させていただきます。

公務員	国家公務員、官僚、役所、警察官、消防士、自衛官、検察、裁判所
教育系	大学教授、教員、児童教育、博物館、図書館
政治・法学系	政治家、弁護士、行政書士、司法書士、判事、検事
経済・金融	経済一般、銀行、証券、生保、損保 等
国際	業種は問わず、世界のフィールドで活躍されている方
マスコミ・広告	放送、新聞、出版、広告代理店、製作、コピーライター
文化・芸術・スポーツ	クリエイティブ、文化的なお仕事、スポーツ関連事業に従事の方
運輸・物流	航空、鉄道、船舶、運送、倉庫
理工	研究所、天文、地球、宇宙、気象
IT	SE、WEB 関連、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、ゲーム産業
製造・電機・電子	メーカー（家電、食品、自動車等）、他ハード関連
建築	建築家、ゼネコン、ハウスメーカー、不動産、土木系
エネルギー	電力、ガス、石油 等
農業・生物・環境	農業、バイオ、生物化学、動物園、植物園、草花系
医療・保健・福祉	医者、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、児童福祉、高齢者福祉、介護
サービス・販売	接客全般、ホテル、デパート、外食産業、流通業 等

18期・8期・28期・38期の皆様、来年は懇親会の当番幹事です

一年に一度、主に8月に開催されております「筑心会懇親会」。毎年、同窓生の多くが参加しています。その数は250名前後で、これに恩師数十名を合わせると約300名程度が参加しています。

現役の吹奏楽部の演奏でオープニングを飾り、懐かしいボンビタールや記念グッズの販売、プレゼント抽選会など、運営を担当する当番幹事の楽しいプログラムに沿って宴が進行していきます。

このような楽しい懇親会ですが、運営については当番幹事制をとっております。来年平成26年度の運営を担当する当番幹事は、18期生がメイン担当となります。そして、8期生・28期生・38期生がサブ担当となります。

来年の運営の参考のためにも、まずは今年の懇親会へご参加いただければ幸いです。

第8回筑紫高校ソフトテニス部 BOOG戦・懇親会のお知らせ

恒例となりましたOBOOG戦、懇親会を行います。詳細は筑心会ホームページをご覧ください。

【日時】平成25年8月11日(日)

【OB・OG戦】受付開始：9時30分
【会場】筑紫高校男子テニス部コート

【会費】500円(昼食代含む)

【懇親会】受付開始：17時30分
【会場】太宰府館 3階 まほろばホール

太宰府市幸府三丁目2番3号
(西鉄太宰府駅下車 徒歩3分)

【会費】3,000円

筑心会では、次代を担う現役生徒を支援するために、平成21年度より「同窓会奨学金」制度を設けております。経済的な理由により就学が厳しい現役生徒を一人でも多く支援できるよう、多くの同窓生からのご寄付をお願い申し上げます。

寄付のお願い

後輩達の今！

筑紫高校剣道部の伝統健在！

取材 / 13期・明神恭子

剣道部



剣道場が上がると「こんにちはい！」というはきはきとした挨拶、しゃきつとした会釈に迎えられ、こんなピリツと張り詰めた雰囲気練習しているんだな〜と感心しました。一時期、部員が少ない時期もありましたが、ここ数年剣道場に活気がもどってきました。

男子主将の高橋君と女子主将の藤木さんに話を聞きました。2人とも小学生のときから剣道をしており、剣道家に育ったそうです。高橋君は「お互いに攻めあつて、勝負が一瞬で決まるところが剣道の醍醐味です。」藤木さんは「剣道はただ見ているだけではわからない奥の深さが魅力です。」と語ってくれました。

顧問は昨年赴任された島添未奈美先生。「自身もバリバリの現役で、今も大会で優勝する、かなりの実力者だぞっ



です。基本を重視されており、剣道以外の礼儀作法などにも大変厳しい先生で、部員は「先生に出会って色んな面で成長しています。」と声を揃えています。

現在は夏の玉竜旗に向けて必死に頑張っています。目標は「最終日まで勝ち残ることです。」と高橋君。藤木さんは「最終日まで勝ち残って、最後の年は絶対にいい結果を出したい。」と意気込んでいました。

最後に先輩方へメッセージ。高橋君「先輩たちの残された結果にはまだ追いついていないけど、これからだと思っています。上位に進出するので、見ててください。」藤木さん「現在、2大会連続県大会出場を決めました。これからも頑張りますので、応援よろしくお願ひします。」筑紫剣士たちのこれからの活躍に注目しましょう。

目指せ、インターハイ団体出場！

取材 / 31期・中村文香

男子ソフトテニス部



緑の木々に囲まれたグラウンドの端にあるテニスコートで、真っ黒に日焼けした部員たちが元気に爽やかな汗を流しているのが目に留まる。

伝統ある男子ソフトテニス部は、現在の顧問の渡邊先生、若狭先生の下、二年生15名、一年生15名、マネージャー3名で、毎日エネルギーに活動しているが、今年は3名の三年生が引退のかかった試合に勝ち進み、次の大会に向けて一緒に練習に励んでいるところだ。

高校でのソフトテニスはふたりで組むダブルスで、個人と団体戦とがある。部長の牟田知弘君は「試合も頭を使わず考えないと勝てないので、日頃から考えることを大事にしています。」と語ってくれた。

ペア決めは部内試合等を通して自分たちで行う。前衛と後衛とが相思相愛



にならないとペアは組めない。もちろん学年を超えてペアを組むこともある。副部長の塩塚真聖君は先輩と組んでいた先輩の引退がかかった最後の試合、大きなプレッシャーの中、一球一球に魂を込め全力で戦った。試合後、塩塚君は涙をこらえていたが、先輩から「一緒に組んでくれてありがとう。自分たちの代でも頑張れよ。」と声をかけられ、こらえていた涙がとまらなくなった。

今年も先輩後輩もみんなが仲の良い男子ソフトテニス部の次の目標は、中部地区団体戦ベスト4、個人戦に4ペアがベスト16に入ることだ。特にインターハイは団体で行ったことがないので、勝ち進みたいと力強く話してくれた。

最後に、先輩たちに僕たちを鍛えにいつでも来てほしいとメッセージを残し、練習へ戻っていった後ろ姿が眩しかった。